

製品・サービス動向-国内

■ポリコムジャパン：コラボレーションインフラストラクチャ ソフトウェア「Polycom RealPresence Clariti」を日本市場向けに発売

(5月24日)

ポリコムジャパン株式会社 (<http://www.polycom.co.jp>) (東京都新宿区)は、日本市場向けに、コラボレーション インフラストラクチャ ソフトウェア「Polycom RealPresence Clariti」の販売を開始した。



Polycom RealPresence Clariti 使用イメージ
(ポリコムジャパン)

Polycom RealPresence Clariti は、ブリッジング、通話制御、Web コラボレーション、ソフトウェア会議端末、デバイス管理、ファイアウォールトラバーサルに必要なすべてのソフトウェアコンポーネントのライセンスを網羅する、包括的なコラボレーションインフラストラクチャソフトウェアソリューション。

ポリコムジャパンによると、あらゆるワークスペース、デバイス、組織規模に適した、包括的で実績のあ

る機能を提供するとしている。

オンプレミス (専用のハードウェアへの実装)、マネージドサービス、プライベートクラウド、パートナーの提供するホスティングサービスなど複数の導入モデルでの提供が可能となっている。

デスクトップ用、モバイル用、Web ブラウザ用の各ビデオアプリケーションが利用でき、ブリッジングは、H.323/SIP、AVC、SVC、および最大 1080p の WebRTC 通話に対応している。

また、「Skype for Business (Lync)」ユーザと従来のビデオ会議を使用するユーザとの間をシームレスに接続するソリューション「Polycom RealConnect for Skype Business」も実現できるため、会議室にいるユーザだけでなく遠隔地のユーザも、「Microsoft Outlook」と統合されたワンタッチ会議機能を使用して簡単に会議に参加できる。

購入方法については、ソリューションへ同時に接続するユーザ数に基づく単一の価格モデルを採用している。ソリューションを使用するユーザ数および会議室の端末数を決定し、サブスクリプションライセンスまたは購入ライセンスのいずれかから、組織のニーズに合ったライセンスモデルを選択するのみという。ライセンス数はいつでも追加することができる。

ポリコムの認定販売代理店を通じて、5月24日より正式に提供開始する。価格は全てオープン。

ビジネス動向-国内

■サムライズ:Adobe Connect と TOKAI コミュニケーションズのクラウドサービスと連携

(6月16日)

日本国内唯一の Adobe Connect 販売代理店である株式会社サムライズ (<http://www.samuraiz.co.jp/>) (東京都品川区) は、株式会社 TOKAI コミュニケーションズ (<http://www.tokai-com.co.jp/>) (静岡県静岡市) が提供するクラウドサービス「JMT クラウド：静岡ゾーン」を、Web 会議システム「Adobe Connect」推奨稼働環境として、顧客に提案していくことを 6 月 16 日に発表した。



Adobe Connect
(サムライズ)

今回の連携により、同クラウドサービスを採用することで、Adobe Connect 利用時における音声/ウェブカメラ利用時のパフォーマンス向上と安定性確保、既存のグループウェアなどコミュニケーション基盤との機能連携などが実現できるとしている。

サムライズでは、同クラウドサービスにおいて 1 カ月間の Adobe Connect の動作試験を行い、Web 会議利用時の音声や Web カメラの品質向上と安定性が確認できたことから、同サービスを Adobe Connect 推奨稼働環境として顧客に提案していくこととした。

■ブイキューブ：サウンドファンと独占販売契約を締結、音のバリアフリースピーカー「ミライスピーカー」を提供開始

(6月21日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、株式会社サウンドファン (<http://soundfun.co.jp/>) (東京都台東区) と、Web

会議サービスでの利用を対象に、難聴者むけスピーカー「ミライスピーカー」の独占販売契約を締結した。

ブイキューブのビジュアルコミュニケーションサービス「V-CUBE」と組み合わせたパッケージとして、6月21日より提供開始する。



パッケージ構成 (ブイキューブ)

パッケージの構成は、V-CUBE、ミライスピーカー「SF-MIRAI-1」、カメラ「CC2900e」、マイク「YVC-1000」。

2016 年 4 月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (いわゆる「障害者差別解消法」) が施行されており、企業では誰もが働きやすい環境を充実させていくことが求められているという。ブイキューブは、ビジュアルコミュニケーションサービス事業者として、難聴者への実証実験で高い効果が確認されているミライスピーカーを採用した。

ミライスピーカーの特徴は以下の通り。

(1) 難聴者に対しては過去の 400 名の実験によりあらゆる種類の難聴の約 8 割が聞きやすいという結果を得られている。

(2) 距離減衰が少なく明瞭度が下がりにくいので、健常者でも遠くに離れていても小さい音で言葉の意味が分かる。

(3) コーン紙を振動させて音波を発する方式ではないため、マイク使用の際にハウリングがしにくい。

ミライスピーカーと V-CUBE の組み合わせにより、声に特化したスピーカーのため、Web 会議や Web セミナーで配信される音声であっても聞こえやすい音声での配信が可能。また、広い会議室やセミナー会場で

も、ミライスピーカーを設置することで聞き取りやすい音声の配信が可能となっている。

ビジネス動向-海外

■ブイキューブ：インドのスマートシティ実現に向け、コルカタ都市圏のBMCと共同プロジェクト実施で合意

(6月20日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、インド最大手の Web 会議サービス事業者 INTELLISYS Technologies & Research Pvt. Ltd.(インテリシス社)と共同で、インド政府が推進しているスマートシティミッションに協力すると発表。



Bidhannagar Municipal Corporation にて、インテリシスの Saumen Chakraborty CEO の出席のもと、市政府責任者と握手を交わすブイキューブ 代表取締役社長 間下 直晃 氏 (ブイキューブ)

スマートシティミッションは、モディ首相が率いるインド政府が重要施策のひとつとして打ち出した Digital India 構想 (社会インフラの I T 化の推進) の一環。経済発展とともに予想されている都市部の人口拡大に備えて、エネルギーや水問題を解決し、効率的な移動を実現する公共交通機関や廃棄物処理など衛生設備が整備された、環境に配慮したスマートシティを 5 年間で 100 都市整備する計画。選定都市が達成する要素は、基本項目として 10 項目が設定されており、

高度な ICT ソリューションの活用も含まれているとしている。

今回、選定都市のひとつで、西ベンガル州コルカタ市を含むコルカタ都市圏の衛星都市である Bidhannagar Municipal Corporation(BMC)と、同市政府が目指すスマートシティの実現に向けて、ビジュアルコミュニケーション分野で協力していくことで、6月20日合意した。

BMC は、スマートシティミッションとして、市政府が提供する全てのサービスに I T を導入し行政サービスの向上を目指している「インテリジェントガバメントサービス」のほか、「教育」「ヘルスケア」「セーフ&セキュリティ」を重点分野に掲げている。

ブイキューブとインテリシス社は、2016 年 3 月、インド国内を中心としたアジア地域でのビジュアルコミュニケーション事業の展開を推進していくため提携している。

両社は、BMC が構想している市内 31 区域をまたいだビジュアルコミュニケーションサービスを市民に提供するための環境の実現に向け、各種 V-CUBE グループサービスを提供していく計画。加えて、Digital India 構想で要求されているビジュアルコミュニケーション分野においても、その実現に向けて共同で取り組んでいくとしている。

※関連記事：INTELLISYS 社との提携・・・定期レポート 2016 年 3 月 15 日号

市場動向-国内

■シード・プランニング：コミュニケーション&テレプレゼンスロボット調査レポート発表

(6月22日)

株式会社シード・プランニング (<https://www.seedplanning.co.jp/>) (東京都文京区) は、コミュニケーション&テレプレゼンスロボットに

関する調査を実施し、その結果をまとめた。

コミュニケーション&テレプレゼンスロボットは、会話型(コミュニケーション)、テレグジスタンス(遠隔疑似体験型)、遠隔操作型に大別されるという。

シード・プランニングは、2000年よりサービスロボットの調査レポートを発刊しており、本調査は、コミュニケーションロボット(ペッパー、Tapia など)とテレプレゼンスロボット(Double、Beam、Kubi)をテーマとした調査レポートの第2回目。

タイプ	機能	国内の主要製品名
コミュニケーションロボット	遠隔でなく、同じ場所での人とロボットのコミュニケーションを行う。	ペッパー、Tapia (タピア)、unibo (ユニボ)、PALRO (パルロ)、Palmi (パルミー)、OHANAS (オハナス)
テレプレゼンスロボット	基本は映像で、遠隔で双方向コミュニケーションができる(一部片方向通信を含む)。	Double (ダブル)、Beam (ビーム)、Kubi (クビ)
テレグジスタンスロボット	離れた場所にいるロボットと感情共有ができ、自分の分身のように操作できる。バーチャルリアリティ (VR) の一分野。	マツコロイド、テレノイド、ハクビー、オリヒメ、テレサファイブ
遠隔操作	有線ケーブルや無線を介して操作できるロボット。宇宙、建設、医療、深海などの分野で利用される。	手術ロボット、自立搬送など

今回の調査対象は赤枠内の2製品が対象

(シード・プランニング)

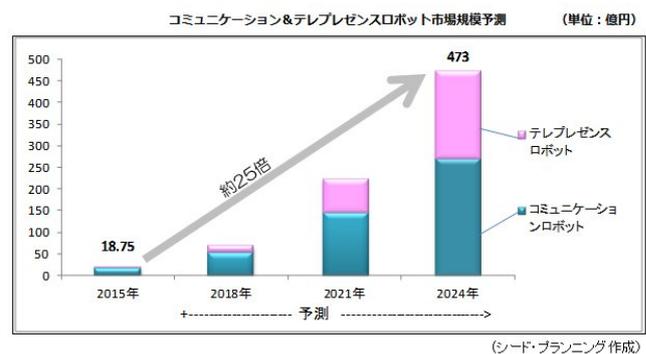
レポートでは、各製品の特徴、用途、市場規模を調査し、今後のサービスロボットの市場展開の可能性をまとめている。

コミュニケーション&テレプレゼンスロボットの市場は今後大きく拡大し、2024年には2015年比25倍強の473億円になると予測している。

コミュニケーションロボットの価格は、1万円の製品も出てきているが、数十万円の製品はまだ多く、現時点での利用分野は限定的だが、今後製品価格が下がってくると、受付、会話、介護、見守りなど幅広い分野での導入が進むと期待されている。

また、ビジネス利用(オフィス、工場、医療機関など)だけでなく、家庭向け低価格製品も登場し、市場の拡大が期待されている。ただし、テレプレゼンスロボットは、移動することで遠隔地の相手とのコミュニ

ケーションや遠隔地の状況を把握することができるなどのメリットはあるものの、従来のテレビ会議やSkypeなどとの決定的な違いは見いだせていなく、テレプレゼンスロボットの「その場に居る存在感」に利用者がどこまで魅力を感じることができるかが普及のポイントとなるだろうと同社では分析する。



コミュニケーション&テレプレゼンスロボット市場規模予測 (シード・プランニング)

また、スマートフォン・タブレット端末で、アプリ、コンテンツ、通信環境が重要になってきたのと同様に、コミュニケーション&テレコミュニケーションロボットも組み込みサービスが重要になってくるだろうと予想する。

なお、本調査結果の詳細は、調査研究レポート「コミュニケーション&テレプレゼンスロボットの最新市場動向～人とコミュニケーションを行うロボットと遠隔で人の代わりに会話を行うロボット(動くテレビ電話)～」に掲載されている。

導入・利用動向-国内

■ブイキューブ：和歌山県、被災地との確かつ迅速な情報共有を実施するため「V-CUBE」を利用

(6月16日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都目黒区) は、和歌山県 (<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>) が、ブイキューブの提供するビジュアルコミュニケーションサービス「V-CUBE」を利用し、平成28年熊本地震による被災地との確かつ迅速な情報共有を行っていることを発表。

これは、ブイキューブが熊本地震におけるBCP(事業継続)対策として無償提供したものによる。(同社より4月15日関連プレスリリース)



和歌山県でのV-CUBE利用の様子(ブイキューブ)

和歌山県では、平成28年熊本地震の支援として、県職員10数名を熊本県や益城町に派遣しており、現地派遣職員と和歌山県庁にいる職員が密接に連携し、場所によって異なる被害状況やガレキの処理状況など現地の様子を正確に共有して、的確な支援を図っていくため、V-CUBEを利用しているという。

ブイキューブは、企業・自治体向けに業務用ドローンソリューションを提供する株式会社ブイキューブロボティクス・ジャパン(東京都渋谷区)も設立している。災害などの緊急時対策で、スムーズに状況確認を実現し、適切な対策を実施できるサービスの提供を進めている。

Report

※CNAレポート・ジャパン橋本啓介による検証レポート

■ブイキューブ：会議室設置型テレビ会議システム「V-CUBE Box」の設置・操作の“簡単さ”を検証する
<https://blog.vcube.com/evaluate-v-cube-box-by-cna-report-japan.html>

■ブイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証(前編)
<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-1>

■ブイキューブ：V-CUBE Box と Polycom HDX8000 を接続し、テレビ会議と資料共有ができるのか検証(後編)
<https://blog.vcube.com/interoperability-between-polycom-hdx8000-and-v-cube-box-2>

■パイオニアVC：“ものづくり”の現場を支える、遠隔コラボレーションシステム「xSync Prime Collaboration」取材レポート
<https://blog.vcube.com/xsync-prime-collaboration.html>

PR

(広告掲載順)

■株式会社日立ハイテクソリューションズ
(テレビ会議ソリューション Acano)
<http://www.hitachi-hightech.com/hsl/products/ict/hightech-vision/acano.html/>

■ヤマハ株式会社

(USB スピーカーフォン FLX UC 500)

http://jp.yamaha.com/products/communication/revolabs/flx_uc_500/

■株式会社メディアプラス

(ビデオプラットフォーム Pexip Infinity、
VMR 運用ツール VMR オペレータ)

<http://www.mediaplus.co.jp/products/Pexip/>

■株式会社ブイキューブ

(テレビ会議システム V-CUBE Box)

<https://jp.vcube.com/service/box/>

セミナー・展示会情報

<国内>

■【大阪で開催!!】 失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方についてデモを交えてご紹介～

日時：7月6日(水) 16:00～17:30 (受付：15:30)

会場：ブイキューブ 大阪営業所 (大阪市北区)

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：https://jp.vcube.com/event/seminar/20160607_1800.html

■【東京開催!!】 失敗しない「Web 会議」、「テレビ会議」の選び方徹底解説セミナー～ビジュアルコミュニケーションツールの選び方についてデモを交えてご紹介～

日時：7月26日(火) 第1回：13:00～14:30 (受付：12:30)

第2回：16:00～17:30 (受付：15:30)

※各回ともに同じ内容。

会場：ブイキューブ東京本社 (東京都目黒区)

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：https://jp.vcube.com/event/seminar/20160608_1000.html

■『今、ビデオ会議はここまで出来る！』

基本的なことから、最新の便利機能までご紹介します！』

日時：7月21日(木)10:00～ (所要時間 30分を予定)

会場：ウェビナー (オンライン)

主催：ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込：<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

この定期レポートの発行は月2回 (プレスリリースと取材) ですが、CNA レポート・ジャパンでは、業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有していきます。よろしければご参照ください。

■フェイスブック (遠隔会議&UC トレンドワッチ)

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter (CNA レポート・ジャパン)

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト (dtc-forum)

<http://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2016年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

CNAレポート・ジャパン 2016年6月30日号おわり

ホームページ：<http://cnar.jp> お問い合わせ：cnar@cnar.jp